

# 問 産業振興ビジョンの今後の推進は

## 答 研究分野と発電分野を中心に推進



光風会  
むらかみ 村上 志保 議員



村ホームページで公開されている  
東海村産業振興ビジョン

**問** 東海村産業振興ビジョンは付加価値額の約7割を占める専門・科学技術、業務支援サービス業、電気業を基軸とし、関連産業を中心に推進する内容となっている。本ビジョン策定の手続きは。

**答** 令和7年2月末から3月中旬までパブリックコメントを実施し、庁議を経て策定した。

**問** 本ビジョンでは新規需要の想定額と経済波及効果の試算が示されているが、そのシナリオ設定の前提条件は。

**答** GX実現や原子力利用に関する国の政策の方向性が維持される

**問** 都市計画と石神地区活性化の方向性は

**答** 石神地区活性化へ規制緩和を検討

**問** 次期都市計画マスタープラン改定の方向性と取り組み内容を伺う。

**答** 社会動向の変化や上位計画との整合を図り、「まちづくりの

**問** 石神地区活性化の具体的な取り組み内容は。

**答** スマートインターチェンジや国道整備により交通利便性が向上することを踏まえ、物流機能や企業立地を見据えた土地利用を検討する。交通基盤整備が進むことで、石神地区における市街化調整区域の規制緩和

**問** 市街化調整区域内でも住宅等の建築を可能とする区域指定の早期導入について、検討の考えはあるか伺う。

**答** 導入には土地条件や区域バランスの整理が必要であり、今後石神地区活性化の取り組みの中で検討を進める。

**問** 国のGX政策や原子力政策は、政治状況や国際情勢により変動する可能性がある。前提が崩れた場合のリスク分散や備えについてどのように考えているか。

**答** 国の政策動向や関連産業の動向を注視し、状況の変化に応じて施策の重点や内容を柔軟に見直していく。

**問** 石神地区活性化の具体的な取り組み内容は。

**答** スマートインターチェンジや国道整備により交通利便性が向上することを踏まえ、物流機能や企業立地を見据えた土地利用を検討する。交通基盤整備が進むことで、石神地区における市街化調整区域の規制緩和

**問** 市街化調整区域内でも住宅等の建築を可能とする区域指定の早期導入について、検討の考えはあるか伺う。

**答** 導入には土地条件や区域バランスの整理が必要であり、今後石神地区活性化の取り組みの中で検討を進める。



4車線化が行われる国道6号